

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	I Le 吉川 バリヴェール			
○保護者評価実施期間	令和8年 1月26日		～	令和8年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	3名
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 2日		～	令和8年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 7日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境と安心感の提供	活動スペースが十分に確保されており、バリアフリーや情報伝達への配慮をしている。	児童の動きに合わせてテーブルや椅子等の配置を工夫していく。
2	個別支援計画に基づいた療育	アセスメントに基づいた個別支援計画書の作成とそれに基づいた支援の徹底を心掛けている。活動プログラムがマンネリ化しないように工夫している。	アセスメント会議時間を増やせるようにしていく。
3	保護者との良好な関係性	日頃からお子様の健康や発達状況について共通理解が持てている。	会報を増やし、事業所の様子を発信していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流の少なさ	地域の子ども達や地域住民との交流が少ない。	地域住民を招待する行事の検討していく。
2	保護者同士の交流支援	保護者同士の交流の機会が少ない。	保護者会や座談会等の提供が出来るようにしていく。
3	情報の積極的な発信と周知	安全計画などの情報発信が上手く出来ていない。	計画している内容を保護者に分かりやすく周知していく。